

静岡市議会
自由民主党静岡市議団
会派広報

街道すおか

No.6

発行
自由民主党
静岡市議団広報部

静岡市議団の会派広報を
お届けします。



いんじにはー！
剣持邦昭です。

豊かな自然環境と高次都市機能の特色ある発展を目指して！ 本年十一月、由比町と合併！ 南アルプスから駿河湾まで 広大な市域がスタート。

平成十五年四月の「新静岡市」誕生から、早いもので五年が経過しようとしています。この間、平成十七年四月には、悲願であった政令指定都市への移行を現実することにも、平成十八年三月には蒲原町との合併が実現し、さらに、平成二十年十一月には、晴れて由比町との合併が実現するこ

ととなりました。いよいよ三、〇〇〇m級の高峰が連なる南アルプスから日本最深の駿河湾に至る広大な市域が一体となった静岡市がスタートすることとなりました。地方分権が推進され、道州制導入の議論を始めとした新しい「国のかたち」が模索される中、平成二十一年三月には静岡空港が開港することにも、平成二十四年度には新東名高速道路が、平成二十九年度には中部横断自動車道が、開通することとなります。本市を取り巻く大規模社会資本が整備される状況を踏まえ、我々自由民主党静岡市議団は、豊かな自然環境と高次都市機能を併せ持つ本市の特色を活かし、市民の皆さんとともに、市域全体の均衡ある発展を目指してまいります。



近藤・大橋・千代・亀澤議員は、公務出張中のため本報に参加できませんでした。

平成20年度に向けた各議員の抱負をご紹介します。

 青木一男 初心忘れるべからず、立志の精神肝に銘じて。医療体制の充実、中山間地の振興、街の活性化に取り組み。	 石川久雄 継続は力なり!!19年度に続き20年度も全力でガンバって行く覚悟でございます。	 城内里 食育の中に食作法がある。命に感謝する心を培う。合掌していただきますを常に実行。早寝早起き朝ご飯。	 大橋英男 皆様の平和と幸多き暮らしを目指し、生活重視の市政を掲げ、実践実行に邁進して参ります。	 近藤光男 安全安心なまちづくりを更なる政令市発展のため初心を忘れず、誠心誠意頑張ります。	 剣持邦昭 任期4年目を迎え、改めて議員や会派の活動に対する評価を検証し最終年度に活かしたい。
 増田進 市議会をより開かれた透明度の高い議会とするため静岡市議会基本条例の実現に努力します。	 栗田裕之 今年は、地球温暖化防止に関心をもち、自然環境にすぐれた住み良い町づくりにしたい。	 石上顕太郎 初心を忘れず、多くの人の声に耳を傾けて、14年目の政治活動に所懸命全力投球します。	 千代公夫 静岡型政令市、特徴を活かした「お茶の都」「清流の都」「歴史の都」の実現を目指し頑張ります。	 井上恒弥 「生懸命」をモットーに、福祉・教育グループの更なる充実を図ります。	 田形清信 日本住みよしの静岡をめざす。JR各駅のバリアフリー化・道路整備(歩道整備)・シティーセーブルス(地場産品・観光)
 深澤陽一 市域の多様な生活習慣・文化を認識し、地域の方々が市の制度を使い易くなるように努める。	 牧田博之 今年は1期4年の仕上げの年。更なる期待に応える為、3年間の反省をバネにジャンプ！	 繁田和三 中山間地域の活性化は待った無しの課題です。住んでいる人、森、清流を守るため、全力で頑張ります。	 亀澤敏之 地域密着！即実行！1期最終年度として地域に密着した議員活動をしていきます。	 遠藤裕孝 政令市静岡の議員として自覚し、元気で明るい国際都市静岡を目指して頑張ります。	 佐地茂人 財政は危機的状況。それは考えつつも市民生活に関わる医療・福祉と環境問題が(今後の)課題である。

【お知らせ】 私たち会派の活動内容を、下記ホームページでご覧になれます。
 URL <http://shizujimin.web.infoseek.co.jp>
 *議員紹介 *調査研究活動 *議会活動 *政策提言 *広報誌
 *ニュース/お知らせ 等々
 身近な議員の活動状況が覗けます。ぜひ一度クリックしてみてください。

〔発行責任者〕
 自由民主党静岡市議団
 広報担当 深澤・牧田・繁田・亀澤
 〒420-0853
 静岡市葵区追手町5番1号
 054-254-2111(内線4511)

静岡市三区の政策研究

各区から選出された自民党会派の議員が区ごとに街づくりの研究に努めます。

●葵区議員グループ



小嶋市長は、「中山間地への若者定住を促進したい」との考えを示されるなど積極的な姿勢であり、今後、多くの市民の皆さんのご理解、ご協力を頂きながら、提案した施策の実現に向けて全力を挙げてまいります。

この提言は、ゆとりや安らぎを求める市民意識の変化や、中山間地域が有する多面的な公益的機能の重要性が認知される中、旧安倍6村の合併40周年を迎える平成21年を節目として中山間地域の活性化に取り組むことが、今日の静岡市政の緊急で最大の課題であるとの認識のもと、政務調査活動の二環として行ったものです。

葵区の中山間地域の活性化に関する政策提言書を提出。



●駿河区議員グループ



今後の活動につきましては、日本平動物園の再整備計画に着目し、スマートインターについてを勉強します。また、登呂遺跡の再整備に併せて利用向上を考えます。そして、150号バイパスや都市計画道路などの推進により、より一体化した駿河区のまちづくりに努めてまいります。

駿河区選出の議員グループは亀澤・佐地・田形・城内・近藤の5名で構成しています。今年度は、初めてということですが、駿河区の特徴と課題を再確認することからスタートしました。橋本駿河区長との話し合いから、住民パワーの必要性を学び、区応援団の重要性を求められました。

地域の特徴と課題を認識し、より一体化した駿河区のまちづくりに。



●清水区議員グループ



清水区の活性化に向けて、新規産業や企業の誘致、ウォーターフロントや親水空間の整備、観光資源の拡充などを港湾全体の再編と併せて推進し、定住人口の増加、滞在型流入人口の増加を目指します。

地域別に次の五つの分類に分け、短期、中期、長期のビジョンを示したものです。

- ① 興津・袖師 地区
- ② 江尻・日の出 地区
- ③ 折戸地区 地区
- ④ 三保地区 地区
- ⑤ 全体区域

詳細は会派ホームページをご覧ください。

静岡市「清水港ビジョン(素案)」への提言。



これが平成19年度に各グループがチャレンジした成果です。

福祉・教育グループ

小規模作業所の実状調査実施！ 教育研修会開催「和田中学からの発信」



市内6カ所の作業所を訪ね、障害者自立支援法への対応状況や事業展開などに困っている事案など、生の声を聞かせていただきました。当面、国の抜本的対策の検討状況や市としての取り組み状況などを報告しましたが、会派の研究テーマとして更なる改善に向けて検討していきます。

教育研修会は、文科省において平成20年度五十億円が予算が確保された「学校支援地域本部」事業のモデル校、杉並区立和田中学校の藤原校長先生をお招きして行いました。

塾の授業を校内で開催する「夜入会」や「ネットワーク型授業」などの先進的な取り組みは、静岡市ならびに日本の教育界に大きな投げかけと指針を与えてくれるものです。

城内 里井上恒弥・栗田裕之
千代公夫・牧田博之

環境・農林水産・港湾グループ

清水港ビジョンについて勉強会を開催！ 市民と共に取り組める環境対策を模索。



現在策定中の清水港ビジョンについて勉強会を開催し、清水港の親水空間・産業立地・再整備について議論を交わしました。それに加え中央卸売市場の建て替え時期を視察し、水産部の清水港への移転可能性について視察をし、検討しております。

環境については、昨年2回目の環境フォーラムを開催し、市民と共に取り組める環境対策をテーマに、学生・企業・NPO等を巻き込んだものにしました。更に効果的な内容になることが今後の課題です。

農林水産については、猟友会・JA関係者との意見交換会を開催しましたが、今後もそのような機会の積み重ねが必要と考えます。

石川久雄・大橋英男・青木一男
佐地茂人・深澤陽一

防災・防犯・まちづくりグループ

政令市静岡の活性化とまちづくりに積極的に取り組む。



▲スポーツを通じての町づくり講演会

7月12日消防防災局の岡村・博局長を講師として「防犯」研修会を行い、また9月18日は「東海地震が発生した場合の対策」と題して、富士常葉大学井野盛夫氏に講演を頂きました。また新潟市と柏崎市を視察し、新潟県中越沖地震の対応について説明を受けました。本年2月21日は「スポーツを通じてのまちづくり」と題して北信越BCリーグの代表村山哲二氏を講師として野球関係者、市民、行政等多くの方に聴講を頂き、プロサッカー広報を担当した経験をも踏まえ「スポーツには地域を活性化させる力がある」と強調され、地域に密着したプロ野球誘致を提案しました。

剣持邦昭・石上顕太郎
遠藤裕孝・亀澤敏之

観光・南ア世界自然遺産調査グループ

南アルプスの世界自然遺産登録を目指して 荒川岳に実際に登頂し、問題点を確認調査。



▲南アルプス荒川岳3,141mに登山

長野、山梨、静岡の6市3町1村が南アルプスを世界自然遺産登録を目指して推進協が設立され、力強く取り組みが進んでいます。

今年度は、世界自然遺産に登録された先進地を視察し、その取り組み経緯と課題を調査しました。そして実際に南アルプスの3,141mの荒川岳に登頂しました。7月の台風で主要道が崩落したため、2ヶ月遅れの10月に登頂となりました。アクセス道路の安全確保、観光資源としてのPR、ビジターセンター建設の必要性等多くの課題、課題が浮きぼりとなりましたが、今後はこれらの具体的な改善に向けて取り組んでいきます。特に南アルプスを世界自然遺産に向けて取り組む事に市民の意識は非常に高く、更に南アルプスのPRに努力していきたいと考えています。

近藤光男・田形清信
増田進・繁田和三